

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	134	環境学習情報センターを核とした普及・啓発					
章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち					
大項目	01	環境への負荷の少ない社会システムの構築					
施策	03	環境保全思想の普及と啓発					
事業内容							
目的	環境学習情報センターを活用して適切な情報提供、環境に関連するイベントなどを行い、環境問題への関心・理解を深め、環境に配慮した生活や行動ができるように普及・啓発を図ります。						
対象・手段	環境学習情報センターを核として、区民・企業・NPO・学校との連携と協働を進め、環境に関する意識を向上させ、具体的に環境改善を実践できるよう、啓発パンフレット等の作成と配布、出前環境学習の実施、ホームページへの掲載、区民・企業・NPO・学校への環境保全活動の支援を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
各種イベントの開催、事業者との連絡会を通じて、普及・啓発、支援を効果的に進め、区民、事業者、NPOが環境保全活動を実践しやすい条件を整えていきます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
エコリーダー養成講座の参加者数	地域の環境活動のリーダーを養成することを目的とした連続講座の参加者数です。	(平成19)	年度に (300人)の水準達成				
「まちの先生見本市」の参加者数	学校の環境学習・環境活動を推進するため、区民・地域団体・NPO・事業者・学校・行政が連携して実施する「新宿の環境学習応援団」まちの先生見本市(1日1回のイベント)の参加者数です。	(平成19)	年度に (500人)の水準達成				
		()	年度に ()の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	人	0.00	300.00	300.00	300.00	実績1について 地域の環境活動リーダー養成講座の一段の創意工夫が必要である。
	実績1	人	0.00	265.00	340.00	150.00	
	= /	%	0.00	88.33	113.33	50.00	
	目標値2	人	0.00	500.00	500.00	500.00	実績2について 18年度は、6回目の開催となったが、本来目的のまちの先生育成に関しては、過渡期の状況です。区民向け環境保全普及に移行していく方向です。
	実績2	人	0.00	650.00	2,000.00	700.00	
	= /	%	0.00	130.00	400.00	140.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	区立小・中学校における環境学習、地域の環境活動のリーダーを育成する「エコリーダー養成講座」、学校の先生や環境学習に興味のある人々を対象にした「まちの先生見本市」、環境省の事業「こどもエコクラブ」事務局、夏休み親子体験教室「神田川たんけん隊」、環境保全活動を地域に広げていくことを目的としたエコライフ推進員の活動、エコ事業者連絡会の開催等を実施しました。						
平成18年度	区立小・中学校における環境学習、地域の環境活動のリーダーを育成する「エコリーダー養成講座」、学校の先生や環境学習に興味のある人々を対象にした「まちの先生見本市」、環境省の事業「こどもエコクラブ」事務局、夏休み親子体験教室「神田川たんけん隊」、環境保全活動を地域に広げていくことを目的としたエコライフ推進員の活動、エコ事業者連絡会の開催等を実施しました。						

部名称		環境土木部		課名称		環境保全課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	3,208	3,125	3,157	2,781	
	人件費	千円	0	0	0	14,076	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	3,208	3,125	3,157	16,857	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	3,208	3,125	3,157	16,857	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	3,208	3,125	3,157	16,857	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	1.70	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>環境学習情報センターを最大限に利用した環境学習の推進及び知名度は着実に広がってはいます。エコリーダー養成講座の参加者は減少していますが、「まちの先生見本市」の参加者は大幅に増加しているなど事業における参加者にばらつきがあり、継続的な開催事業への参加数の増加がなお一層求められます。同センターを核としたパートナーシップの構築・発展及び創意工夫が必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	環境学習情報センターを活用した環境学習事業実施、環境関連イベントへの参加、「環境たより」やホームページを通じた情報提供など、利用可能なツールを活用して、計画通り環境保全思想の普及啓発活動を実施しています。				
	効率性	2	環境学習情報センターを核とした、環境普及啓発事業展開は、地道な活動の積み重ねを行っています。少しずつですが、区民からの反応も有り、区民の行動にも変化が出てきています。更なるホームページの活用により普及啓発の効率化が望めます。				
	実施の成果	2	イベントへの参加者の満足度は高く、普及啓発事業が環境への理解や関心を深めるのに一定の成果を上げています。				
	行政の関与	3	環境保全に関する知識の普及及び意識啓発を図ることは、区の責務です。				
	妥当性	2	各種イベント等においては、区民等に対して環境について考える機会を提供していますが、さらに踏み込んで、環境保全思想の定着を担う仕組みづくりが必要です。				
	施策寄与度	3	平成16年6月5日開設の環境学習情報センターを核として、より一層活用することにより、一層効果的な普及啓発活動の展開に大いに寄与しています。				
総合評価	環境学習情報センターを核とした、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の地道な連携と協働により、普及啓発事業の環境への理解や関心を深めるのに一定の成果を上げています。事業毎により参加者にばらつきがあることから、参加者の増加に向けた事業内容の一層の創意工夫が必要です。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
	改革方針	環境学習情報センターを核とした、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の連携、協働を一層推進します。また、エコライフ推進員を一層活用し、環境保全思想の定着を担う仕組みづくりをしていきます。更にホームページを充実させるなど、手段の改善を図り、今後もより一層効果的な普及啓発活動の展開を図るとともに、参加者の増加を図れるような事業内容に一層工夫していきます。					